

平成29(2017)年度 厚木市当初予算



これまで築いてきたまちづくりを更に発展させるため、
進取の気概をもって **次世代へのレガシーを創造する**

あつぎの 元**進取** 予算 2017

(当初予算の概要)

予算総額 (過去2番目)

1,447億4,071万4千円 (3.7%減)

一般会計 (過去最大) 5年連続でプラス予算

808億円 (0.3%増)

特別会計 介護保険事業などの社会保障経費や公共下水道事業の浸水対策事業の増

519億5,264万3千円 (2.7%増)

公営企業会計 病院建設事業の終了

119億8,807万1千円 (37.4%減)

(徹底した行財政改革の推進)

“健全財政を堅持し、持続的な発展を可能にする 行財政の確立”

総額 **31** 億円の効果額

1 歳入確保の強化 約 **15** 億円

- ① 税・料等の収納対策の強化
- ② 国庫補助金等の更なる確保
- ③ 受益者負担の見直し など

2 歳出の削減 約 **16** 億円

- ① 職員給与の独自削減の継続
- ② 施設等の維持管理費等の見直し
- ③ 委託料等の見直し など



(重点項目)

本市の将来の発展に欠かせない

都市基盤整備・地域経済活性化

誰もが生きがいを持って安心して生活できる

地域包括ケア社会

人口の将来展望の実現を目指す

地方創生

● 保育所・学童保育待機児童ゼロ

● 児童・生徒の学力向上

市民の生命と財産を守るための

安心・安全

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた環境整備

オリンピック・パラリンピック

+ あつぎ元気プランの着実な推進

あつぎの元気**進取**予算 2017



重点項目別の 主要事業

本市の将来の発展に欠かせない

都市基盤整備・地域経済活性化の推進①

1

H29年度にA工区の完成・企業操業

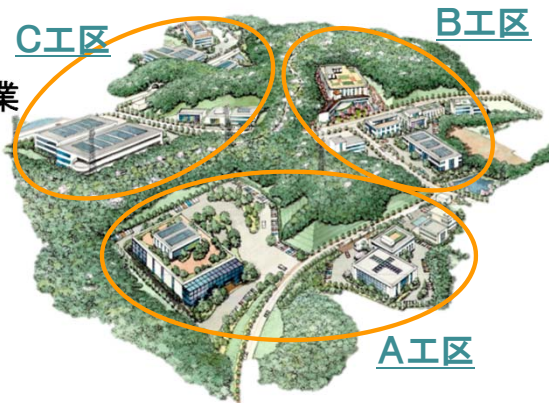
森の里東土地地区画整理関連事業

森の里東土地地区画整理組合に対する支援を実施。H27年1月に着手したA工区の工事進捗率は83%。

A工区 H29年度完成・企業操業

B工区 H32年度完成(予定)

C工区 H35年度完成(予定)



地域経済活性化のため、
新たな産業用地を創出。



2

H31年度完成(予定)

本厚木駅南口地区市街地再開発事業

駅前広場の拡充整備や地上22階建てとなる再開発ビルの整備を促進。H29年度は既存建物の除却、整地などを実施。

3

中町第2-2地区周辺整備関連事業 ● 拡充

中町第2-2地区の整備方針に基づき、複合施設基本計画を策定するとともに、周辺の交通機能を充実させるための整備計画を作成。

本市の将来の発展に欠かせない

都市基盤整備・地域経済活性化の推進②

4

厚木PAスマートインター・ 街路整備関連事業

● 拡充 ● 新規

スマートインターチェンジ整備事業 H30年度完成(予定)

(仮称)厚木パーキングエリアスマートインターチェンジの開通に向けて、事業用地の取得及び中日本高速道路(株)と工事協定等を締結し、事業を推進。

厚木環状3号線街路整備事業 H32年度完成(予定)

都市計画道路としての交通ネットワーク構築のため、県道63号宮地交差点から1,700mにわたり、設計と造成工事を実施。

本厚木下津古久線街路整備事業 H32年度完成(予定)

新東名高速道路(仮称)厚木南ICへのアクセス機能や地域経済活性化のため、道路整備を実施。



圏央道厚木PA

5

(仮称)本厚木駅南東側 自転車等駐車場整備事業

● 新規

不足する自転車等駐車場の解消を図るため、約800台の自転車等駐車場の整備に向け、旧厚木労働基準監督署跡地用地取得を実施。



整備イメージ

人口の将来展望の実現を目指す 地方創生の推進

1 市内企業等データベース構築事業 ● 新規

市内企業等の更なる発展と活性化による企業等の流出防止や、市民や大学生等の定住促進につなげるため、市内企業等の情報のデータベース化を実施。

2 空き家等対策推進事業費補助金 ● 新規

空家等対策計画に基づき、地域住民の生活環境に影響を及ぼしている空き家の解体費や取得費に対する補助を実施。

解体費助成 解体費の1/2(上限50万円)

取得費助成 取得費500万円以上で一律50万円
(三世帯同居や転入などの加算あり)

3 地方創生推進プロジェクト関連事業

人口ビジョンに掲げる将来の目標人口の実現を目指し、20歳代を中心とした若い世代の定住促進・転出抑制や合計特殊出生率の向上につながる効果的な事業を検討・実施。

4 厚木市の観光資源を盛り込んだツアーを商品化！ 新たな観光ルート創出事業 ● 新規

温泉旅館など観光資源を活用した着地型ツアー商品の提案をすることで、国内旅行者やインバウンドにおける誘客を促進。



地方創生

保育所・学童保育待機児童ゼロの実現①

1

H30年の開設に向け、受入定員300人拡大！

民間保育所建設事業費補助金 ● 拡充

待機児童解消を図るため、新たに認可保育所や小規模保育施設等を整備する法人に対し、国の補助制度を活用して補助金を交付。

認可保育所	4施設以内	(補助額)	9,600万円
小規模保育施設	5施設以内	(補助額)	7,200万円
病児保育施設	1施設	(補助額)	460万円



2

新たに1~2歳児の保育受入施設を整備

幼稚園型認定こども園 整備事業費補助金 ● 新規

認定こども園2園において、新たに3号認定（1~2歳児の保育）の受入れ施設を整備し、保育所待機児童対策を推進。

厚木田園幼稚園	1~2歳児	24人	(補助額)	約3,588万円
はやし幼稚園	1~2歳児	19人	(補助額)	約2,551万円



地方創生

保育所・学童保育待機児童ゼロの実現②

3

久保子どもの未来応援基金活用事業
県内初・全国トップクラス！

保育士奨学金返済助成金 ● 新規

奨学金を利用して保育士の資格を取得し、市内の私立保育施設に勤務する市内在住の方に対し、返済金額の一部を助成。

助成内容 保育士が市内の私立保育施設に勤務している期間に、奨学金の返還に要した費用の一部を保育士本人に支給。
(上限20万円/年、最長3年間・最大60万円)



4

久保子どもの未来応援基金活用事業 県内初！

保育士転入奨励助成金 ● 新規

市内の私立保育施設に就職する又は勤務している保育士に対し、市内への転入経費の一部を助成。

助成内容 保育士が市内に転入する際に要した費用に対して、最大10万円を保育士本人に支給。
(一律5万円+転入経費として上限5万円まで)



5

新たな施設整備により、定員134人・10%増

放課後児童クラブ運営事業 ● 拡充

保護者の方が安心して児童を預けることができるよう、新たに施設を整備し、放課後児童クラブの定員を拡大。

地方創生

児童・生徒の学力向上

1

市内全小・中学校にタブレットPCを配置

小・中学校ICT化推進事業 ● 拡充

児童・生徒の確かな学力の育成と教職員のICTを活用した授業力の向上を図るため、全ての小・中学校に40台のタブレット型PCを整備。



2

コミュニティ・スクール推進事業 ● 拡充

子どもたちの豊かな学びと健やかな成長を支えていく地域とともにある学校づくりを進めるために、コミュニティ・スクールを、H29年度から2年間で全小・中学校に展開。

3

学カステップアップ支援員派遣事業 ● 拡充

授業等において、教員の指導補助や放課後、夏休み期間中の個別の学習支援を行うため、小・中学校にそれぞれ学カステップアップ支援員を派遣。



4

小学校「あつぎ元気塾」実施事業 ● 拡充

放課後の教室等を利用し、小学校3年生の児童に国語及び算数の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るため、タブレットを活用した個別の学習支援を行う「あつぎICT元気塾」を実施。

誰もが生きがいを持って安心して生活できる

地域包括ケア社会の実現①

1

県内初！

高齢者タクシー助成事業 ● 新規

バスの利用が困難になるとと思われる85歳以上のみの世帯の方を対象に、タクシー助成券を配布し、外出を支援。

助成内容 (助成額)4,800円(600円の助成券を最大8枚/年)



2

療育支援のために2つの拠点施設が誕生！

療育支援・児童発達支援事業 ● 拡充

療育支援事業

新たに療育相談センター「まめの木」を開設し、児童・保護者への支援を行うとともに、発達障がいの理解促進を図るため、巡回相談や研修会等を実施。

児童発達支援事業

新たに児童発達支援センター「ひよこ園」を開設し、3歳以上就学前の障がい児に対し、日常生活における基本的動作の指導や、集団適応への支援を行うほか、保育所等訪問支援、障害児相談支援を実施。



療育相談センター「まめの木」

誰もが生きがいを持って安心して生活できる

地域包括ケア社会の実現②

3

見守り、見守られ、支えあう地域づくり！

地区地域福祉推進委員会交付金

● 拡充

地域福祉の更なる充実に向けて、地域住民、企業、団体及び行政が一体となって「見守り、見守られ、支えあう地域づくり」を推進することを目的に、各地区地域福祉推進委員会に交付金を交付。



4

主任ケアマネ研修などへの補助を拡充！

介護職員キャリアアップ等 支援事業補助金

● 拡充

介護職の人材確保及び定着を支援するため、市内の事業所等で働く介護職員等が、キャリアアップを目指し受講した研修費の一部を補助。



5

地域包括支援センターの人員を増員！

包括的支援事業（特別会計）

● 拡充

今後増加が見込まれる認知症及び独居世帯等の高齢者等に対する総合相談業務、権利擁護業務等を充実させるため、市内10の地域包括支援センターの人員を増員。

市民の生命と財産を守るための 安心・安全の推進①

1

通学路などに防犯カメラを設置！

見守りシステム構築事業 ● 拡充

児童・生徒の通学路を中心に、街頭犯罪や不審者が多く出没する場所等に、防犯カメラを設置し、犯罪を寄せ付けない環境整備を推進。

2

プロのスタントマンが事故を再現！

スケアード・ストレイト推進事業 ● 新規

自転車利用者の交通ルール遵守と交通マナーの向上により一層取り組むため、中学生を対象にプロのスタントマンが事故を再現するスケアード・ストレイト教育技法による自転車安全教室を実施。

3

熊本地震を体験できる起震車を導入！県内初

震度体験啓発事業 ● 拡充

東日本大震災や熊本地震などの震度体験を通じて、防災意識の高揚を図るため、新たな起震車を導入。



新型の起震車



プロのスタントマンによる
事故の再現

市民の生命と財産を守るための 安心・安全の推進②

4

あさひ公園地下に雨水貯留施設を整備 H31年度完成(予定)

公共下水道厚木排水区等 ● 拡充
浸水対策事業(特別会計)

集中豪雨に対する本厚木駅周辺の浸水被害を軽減するため、あさひ公園の地下に雨水貯留施設を整備。

総事業費 33億円(H28年度～H31年度)



ドローンのイメージ

5

県内初!

消防活動用ドローン導入事業 ● 新規

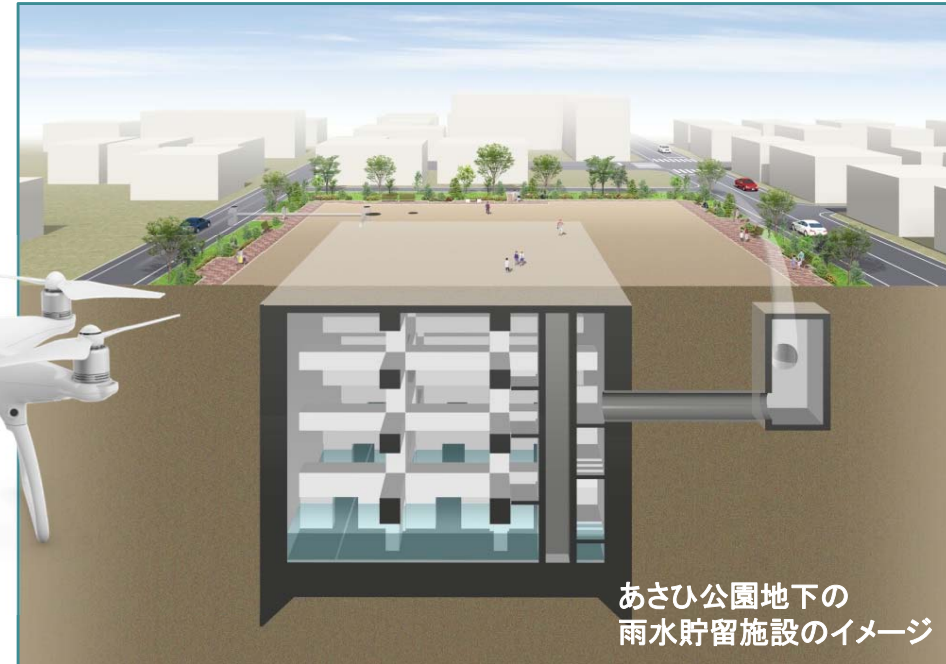
火災や風水害などの災害事案において、消防隊員の接近が困難な場所における状況把握や情報収集のほか、救助活動に活用するため、消防活動用ドローンを2機導入。

6

H31年度完成(予定)

相川分署新築事業 ● 新規

新東名高速道路など、高規格幹線道路における災害対応や大規模災害時における消防・防災の拠点施設として機能の充実を図るため、相川分署の新築移転に向け、用地を取得。



あさひ公園地下の雨水貯留施設のイメージ



現在の相川分署



東京オリンピック・パラリンピック 開催に向けた環境整備の推進

1

子どもたちの夢と希望を育む

オリンピック・パラリンピック 支援推進事業

● 拡充

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019日本大会のキャンプ誘致を図るとともに、スポーツ文化の振興、国際交流、観光振興などを推進。



2

H30年度完成(予定)

荻野運動公園体育館空調設備 設置事業(継続費)

● 新規

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019日本大会のキャンプ誘致を推進し、良質な運動環境を整備するため、荻野運動公園体育館メインアリーナに空調設備を設置。



3

かながわパラスポーツフェスタを誘致!

市民スポーツ活動推進事業

● 拡充

多くの市民にスポーツに触れ合う機会を提供するため、ニュースポーツを体験するスポーツなじみDAYの開催や、かながわパラスポーツフェスタを誘致。

あつぎ元気プランの着実な推進①

1

5歳児健診をモデル園でスタート！

母子保健衛生事業 ● 拡充

発達・行動上に支援を必要とする5歳児を早期に発見し、療育支援につなげていくため、5歳児健康診査を幼稚園及び保育所のモデル園で実施。

モデル園 幼稚園・保育所 9園

対象児 市内在住で年度内に5歳になる児童 約300人



2

郷土への愛着と誇りを育む拠点施設！

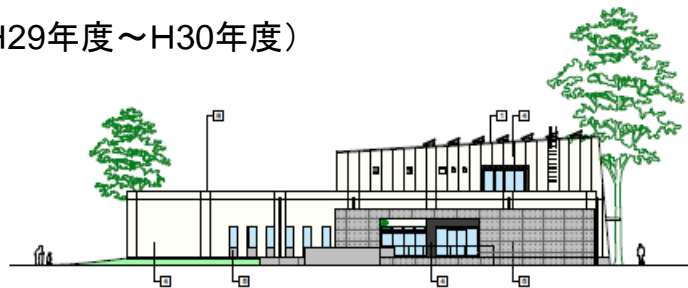
H30年度完成(予定)

● 拡充

(仮称)あつぎ郷土資料館建設事業(継続費)

郷土文化の新たな活動拠点、文化財資料の収蔵などの機能を担う施設として、(仮称)あつぎ郷土資料館の建設に着手。

総事業費 約9億円(H29年度～H30年度)



(仮称)あつぎ郷土資料館完成イメージ

あつぎ元気プランの着実な推進②

3

H30年度完成(予定)

● 拡充

(仮称)戸室ハイツ(2)建設事業(継続費)

住宅に困窮する低所得者へ新たな住宅供給を行うため、(仮称)戸室ハイツ(2)の建設に着手。

構造等 鉄筋コンクリート造 5階建て

計画戸数 70居室
3DK:13戸、2DK:22戸(うち車イス専用2戸)
1K:35戸

総事業費 約14億円(H29年度～H30年度)

住宅棟のイメージ



4

ロボット産業等創出事業補助金

● 新規

ロボット産業の新たな集積を目指すため、ロボット製品の研究・開発・製造等にかかる費用の一部を補助。

5

次世代自動車充電インフラ整備 促進事業補助金

● 新規

電気自動車の普及促進を図るため、市内企業者等への普及促進支援対策として、市内企業等が整備する充電インフラに対し、本体購入費及び設置工事費の一部を補助。





あつぎの元気**進取**予算 2017

主要事業**ピックアップ**

ソフト事業

新規・拡充する主要ソフト事業

- H30年の開設に向け、受入定員を300人拡大 172,600千円

1 民間保育所建設事業費補助金 ● 拡充

待機児童
ゼロ


- 県内初・全国トップクラス
久保子どもの未来応援基金活用事業 6,000千円

2 保育士奨学金返済助成金 保育士転入奨励助成金 ● 新規

待機児童
ゼロ


- 市内全小・中学校にタブレットPCを配置 97,761千円

3 小・中学校ICT化推進事業 ● 拡充

学力向上


- (県内初)

4 高齢者タクシー助成事業 ● 新規

11,429千円

地域包括
ケア社会


- 通学路を中心に防犯カメラを設置

5 見守りシステム構築事業 ● 拡充

安心・安全

26,702千円
- 空き家等対策推進 ● 新規

6 事業費補助金 10,000千円

地方創生

オリンピック・パラリンピック ● 拡充

7 支援推進事業 26,000千円

オリパラ

ハード 事業

新たにスタートする主要ハード事業

- (仮称)

1 あつぎ郷土資料館建設事業

92,226千円

● 拡充

元気プラン

H30年度完成予定



- ### 2 荻野運動公園体育館空調設備設置事業

112,800千円

● 新規

オリパラ

H30年度完成予定



- (仮称)

3 戸室ハイツ (2) 建設事業

257,460千円

● 拡充

元気プラン

H30年度完成予定



- (仮称)

4 本厚木駅南東側自転車等駐車場整備事業

66,919千円

● 新規

都市基盤整備

H31年度完成予定



- ### 5 相川分署新築事業

77,000千円

● 新規

安心・安全

H31年度完成予定



ハード事業

継続して進めていく主要ハード事業

(特別会計) 968,000千円

**1 公共下水道厚木排水区
等浸水対策事業** 安心安全 ● 拡充 H31年度
完成予定



H29年度にA工区の完成・企業操業 637,590千円

**2 森の里東土地区画整理関
連事業** 都市基盤整備 A工区
工事進捗
83%



702,193千円

**3 本厚木駅南口地区市街地
再開発事業** 都市基盤整備 H31年度
完成予定



204,704千円

**4 中町第2-2地区周辺整備
関連事業** 都市基盤整備 ● 拡充 H29年度
基本計画
策定



1,490,971千円

**5 厚木PAスマートインター・
街路整備関連事業** 都市基盤整備 ● 拡充・新規 H30年度
完成予定



※環状3号線・本厚木下津古久線は、H32年度完成予定

あつぎの
元気**進取**
予算 2017